

課題別研究会「進路保障」の取組の観点 [研究協議の柱]

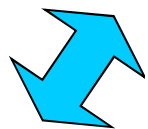
(令和6年度)

子どもと向き合う教職員の姿勢について

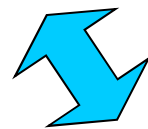
- 子どもを深く理解するために、どのように子どもと向き合っているのか交流しましょう。
- 子どもが安心して学べない現状を前に、「子どもの事実」から何を学び、「進路（育ち）」や「学力」を保障する取組につなげているのか交流しましょう。

～^モMom[△]：「見つめる」「思いをめぐらす」「向き合う」ことを通して～

- ・ 子どもが、どんな暮らしの中で、どのような育ちをしてきたか。
- ・ 子どもが、どんな思いで学校に来ているか。
- ・ 子どもが、授業にどんな願いをもっているか。
- ・ 子どものつまずきを、誰がどれだけ理解し、関わりを継続しているか。
- ・ 子どもの保護者や子どもを取り巻く人たちの願いは何か。



関連

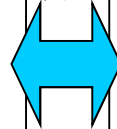


関連

「生きる力」を育む学習と自尊感情の育成、差別を許さない仲間づくりについて

- 子どもたちが、互いに支え合う仲間としてつながり、仲間と共に自らの生活や進路をどのように切り拓いているのか交流しましょう。
- 子ども一人一人が、自己実現を果たすために必要な学力とは何か、また、その学力を仲間と共に身に付けていくための道筋を交流しましょう。
- 子ども一人一人の存在や思いを大切に学校・学級づくりを通して、学校全体として子どもの育ちがどのように保障されているのか交流しましょう。

関連



家庭・地域・関係機関との連携及び学校間の連携について

- 子どもの育ちをつないでいくために、保育所、幼稚園、こども園、学校、家庭、地域（地域での学習活動の場を含む）、行政（職業安定行政等）や児童福祉施設、児童自立支援施設等が、どのように連携を図っているのか交流しましょう。
- 「統一応募用紙」に込められた“差別をなくす”精神を具現化する取組について、学校や行政（職業安定行政等）、企業等がどのように進めているのか交流しましょう。
- 全ての子どもの自己実現を支える奨学金制度や就学支援・就学援助制度等に関する取組の成果や課題について交流しましょう。

出席者それぞれが疑問や実践を出し合い、これからの実践の糧となるよう共に学び合っていきましょう。